

## 東北地方の 6 月は記録的な高温となりました

東北地方の 6 月の月平均気温は、平年より 2.1℃高く、  
1946 年の統計開始以降、最高を更新しました。

太平洋高気圧が日本の南で西へ張り出し、暖かい空気が流れ込みやすかったことに加え、上旬を中心に晴れて強い日射の影響を受けたことから、6 月の平均気温は、東北地方全体で平年より 2.1℃高く、1946 年の統計開始以降で最も高くなりました（これまでの最高は 1991 年の +2.0℃）。

平均気温は東北地方にある 17 地点の気象台と特別地域気象観測所の観測値から算出しています。

詳しくは、下記 URL より、「2020 年 6 月の東北地方の天候」をご覧ください。

仙台管区気象台ホームページ 「2020 年 6 月の東北地方の天候」

[https://www.jma-net.go.jp/sendai/kouhou/houdou/20/20200701\\_06TukiGaikyou.pdf](https://www.jma-net.go.jp/sendai/kouhou/houdou/20/20200701_06TukiGaikyou.pdf)



問合せ先：仙台管区気象台気象防災部 地球環境・海洋課  
担当：池田・金濱・西村  
電話：022-297-8177 FAX：022-291-8110

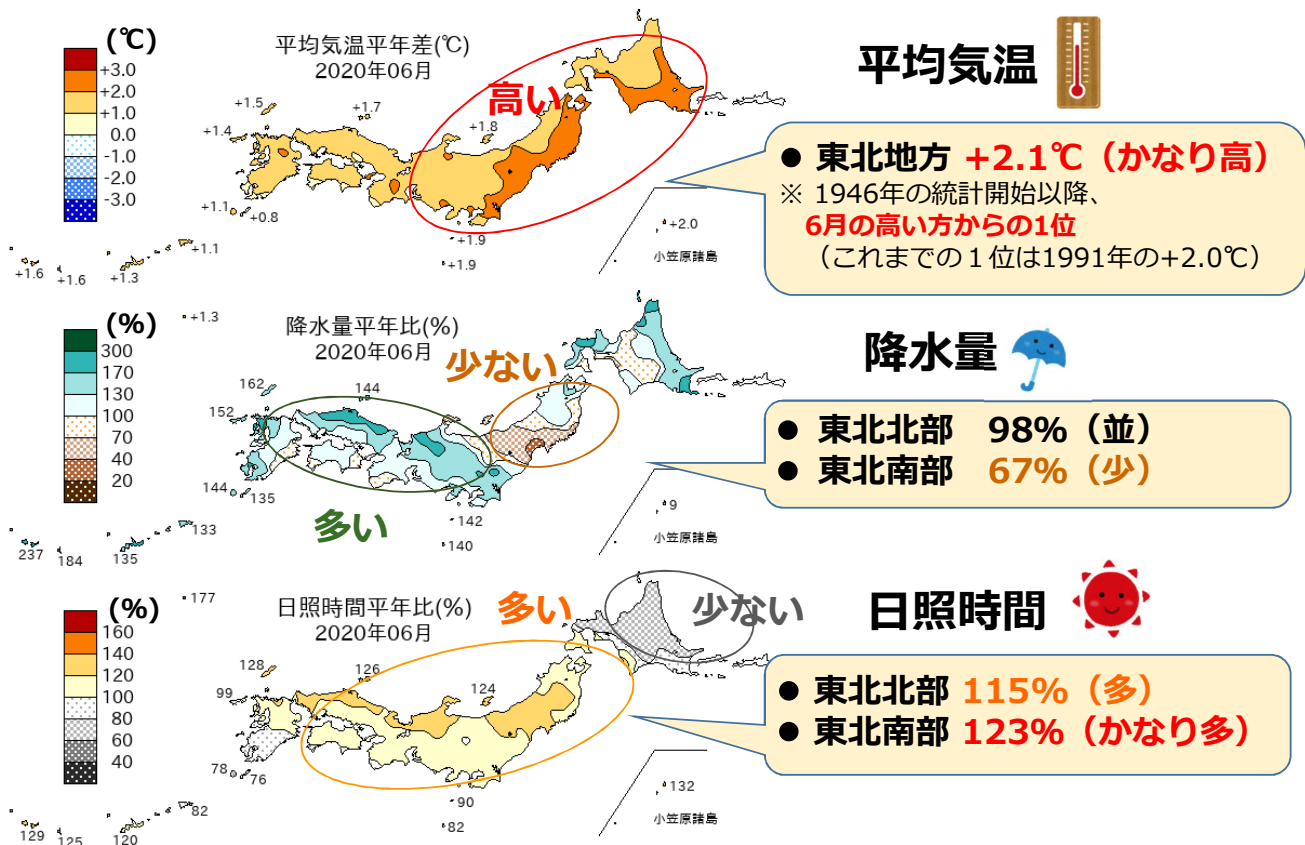


# 東北地方 2020年6月の天候のまとめ

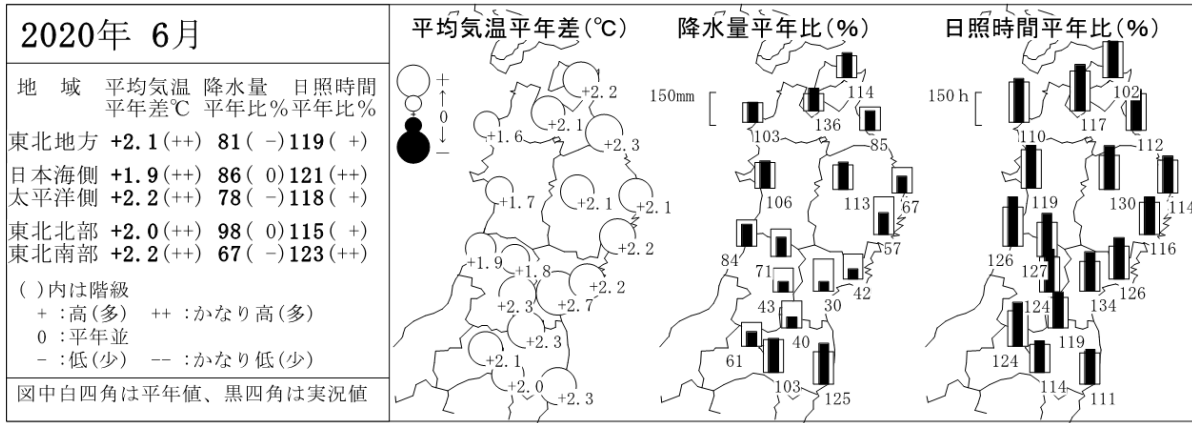
2020年7月1日

気象防災部 地球環境・海洋課

## 6月の気温・降水量・日照（平年との比較）



# 6月の気温・降水量・日照（地点別）



6月平均気温高い方からの順位更新 タイ記録は「=」で表す。

順位	地点名	平均気温°C	平年差°C	これまでの最高°C (西暦年)	開始年	平年値°C
1	若松	22.2	+2.1	22.1 (2013)	1954	20.1
	深浦	18.9 =	+1.6	18.9 (2007)	1940	17.3
2	大船渡	19.6	+2.2	19.8 (1991)	1964	17.4
	むつ	17.9	+2.2	18.2 (1991)	1935	15.7
	八戸	18.5 =	+2.3	19.3 (1991)	1937	16.2
	山形	22.1	+2.3	22.3 (1894)	1890	19.8
	仙台	21.2	+2.7	21.4 (1979)	1927	18.5
	白河	20.6	+2.0	20.8 (1979)	1940	18.6
3	新庄	20.7	+1.8	21.0 (2014)	1958	18.9
	盛岡	19.3	+2.1	19.8 (1991)	1882	17.2
	盛岡	20.4 =	+2.3	20.8 (2014)	1924	18.3
	福島	22.4 =	+2.3	22.9 (1979)	1889	20.1
	名浜	20.7	+2.3	21.0 (1991)	1910	18.4

若松：6/10に36.4°C  
6月の日最高気温の歴代1位

6月降水量少ない方からの順位更新

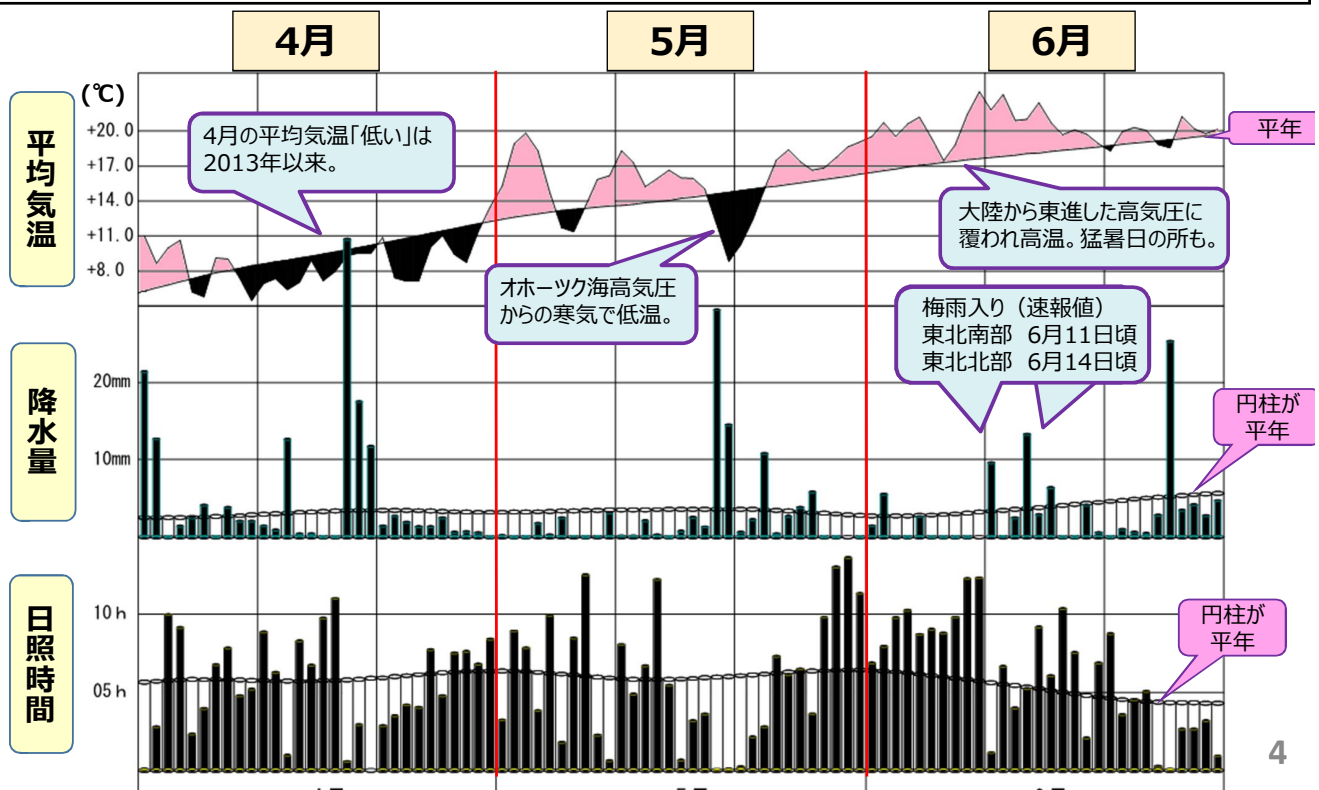
順位	地点名	降水量mm	平年比%	これまでの最小mm (西暦年)	開始年	平年値mm
1	仙台	43.5	30	48.3 (1933)	1927	145.6

6月の日照時間  
順位更新の3位以内はなし

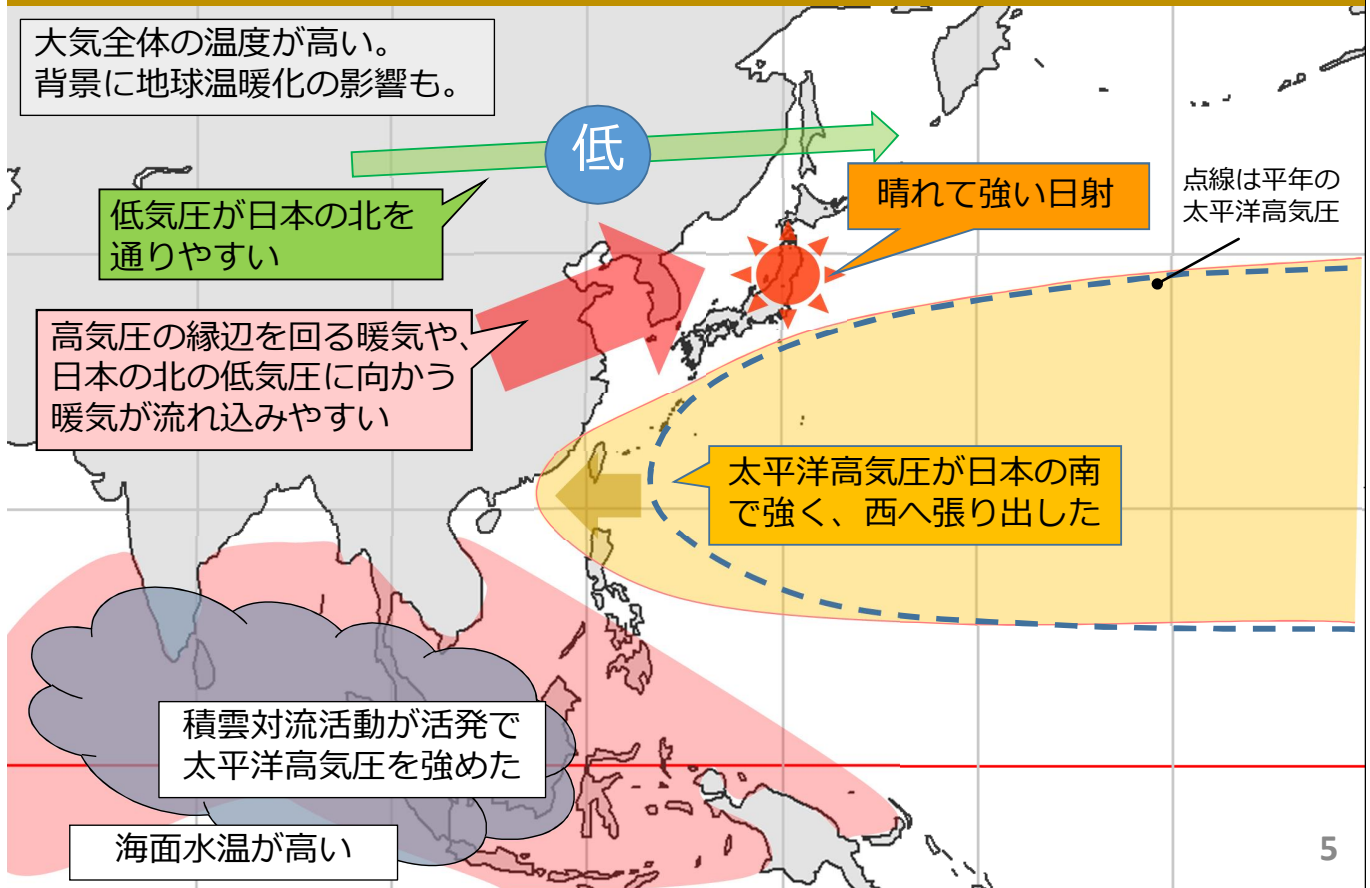
## 4～6月の気温・降水量・日照の推移（東北地方）



- 4月低温。5月高温で一時的に低温。6月は高温が持続し盛夏期並の高温も。
- 6月は上旬中心に高気圧に覆われる日が多かったため、少雨・多照。



# 2020年6月の平均的な大気の流れの模式図 ～北・東・西日本に記録的高温をもたらした大気の流れ～



## 梅雨入り（速報値）

■ 令和2年の梅雨入り

更新日：令和2年6月14日

地方	令和2年	平年差	昨年差	平年	昨年
沖縄	5月11日ごろ	2日遅い	5日早い	5月9日ごろ	5月16日ごろ
奄美	5月10日ごろ	1日早い	4日早い	5月11日ごろ	5月14日ごろ
九州南部	5月30日ごろ	1日早い	1日早い	5月31日ごろ	5月31日ごろ
九州北部	6月11日ごろ	6日遅い	15日早い	6月5日ごろ	6月26日ごろ
四国	5月31日ごろ	5日早い	26日早い	6月5日ごろ	6月26日ごろ
中国	6月10日ごろ	3日遅い	16日早い	6月7日ごろ	6月26日ごろ
近畿	6月10日ごろ	3日遅い	17日早い	6月7日ごろ	6月27日ごろ
東海	6月10日ごろ	2日遅い	3日遅い	6月8日ごろ	6月7日ごろ
関東甲信	6月11日ごろ	3日遅い	4日遅い	6月8日ごろ	6月7日ごろ
北陸	6月11日ごろ	1日早い	4日遅い	6月12日ごろ	6月7日ごろ
東北南部	6月11日ごろ	1日早い	4日遅い	6月12日ごろ	6月7日ごろ
東北北部	6月14日ごろ	同じ	1日早い	6月14日ごろ	6月15日ごろ

※東北南部は6月11日頃に東北北部は6月14日頃に梅雨入りしたと見られる。  
梅雨前線上を低気圧が東進して、中国地方から東北南部にかけて梅雨入りとなった。

## 2020年6月の東北地方の天候

- 東北地方の月平均気温は、6月として1946年以降最も高かった。
- 東北南部では上旬を中心に高気圧に覆われて晴れの日が多く、日照時間はかなり多くなった。

### 概況

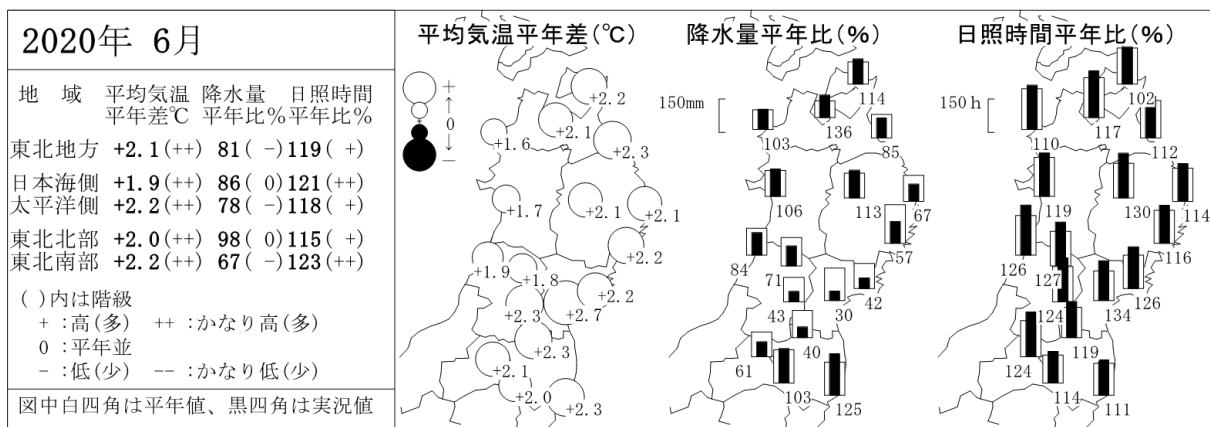
上旬は高気圧に覆われ、晴れの日が多くなった。中旬は梅雨前線や気圧の谷の影響により、天気は短い周期で変わった。下旬は前線や低気圧の影響を受け、雨や曇りの日が多かったが、東北日本海側では下旬の前半は高気圧に覆われ晴れた日があった。太平洋高気圧が日本の南で西へ張り出し、高気圧の縁辺を回って南からの暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温の高い日が続いた。特に上旬の終わりは背の高い高気圧に覆われて、晴れて強い日射の影響を受けた日もあった。月平均気温は、東北地方で平年差+2.1℃と、6月としては1946年以降で1位\*の高温となった（これまでの1位は1991年の+2.0℃）。地点別の月平均気温は、若松と深浦で6月として高い方からの1位\*（深浦は1位タイ）を記録した。また、10日の日最高気温は若松で36.4℃となり、6月として高い方からの1位\*を記録した。上旬を中心に晴れの日が多かったため、東北南部では月間日照時間はかなり多くなった。梅雨前線は北日本付近まで北上した時期もあったが、本州の南海上に停滞しやすかったため、月降水量は東北南部を中心に少なくなった。地点別の月降水量は、仙台で6月として少ない方からの1位\*を記録した。

東北南部は6月11日ごろ、東北北部は6月14日ごろ梅雨入りしたとみられ、東北南部では平年より1日早く、東北北部では平年と同じ日の梅雨入りとなった。（速報値。平年の梅雨入りは東北南部6月12日ごろ、東北北部6月14日ごろ。）

5日は寒冷前線が通過したため、東北太平洋側の所々で雷雨となり、福島県で大雨となった所があった。11日と14日は梅雨前線上を低気圧が東進したため、各県で大雨となった所があった。16日、18日、19日は大気の状態が不安定となったため、所々で雷雨となり、秋田県、岩手県、福島県で大雨となった所があった。26日から28日は梅雨前線と低気圧の影響を受け、各県で大雨となった所があった。

月平均気温はかなり高い。月降水量は東北北部で平年並、東北南部で少ない。月間日照時間は東北北部で多く、東北南部でかなり多い。

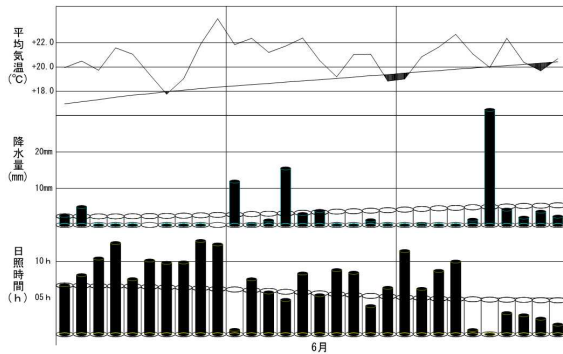
（※：統計開始以降の順位を示す）



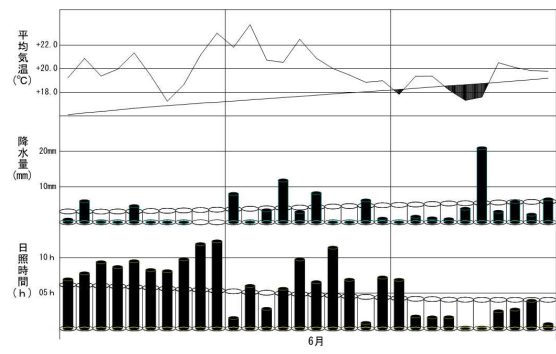
平均気温の平年差、降水量・日照時間の平年比の分布

### 降水量、日照時間平年比分布図の凡例について

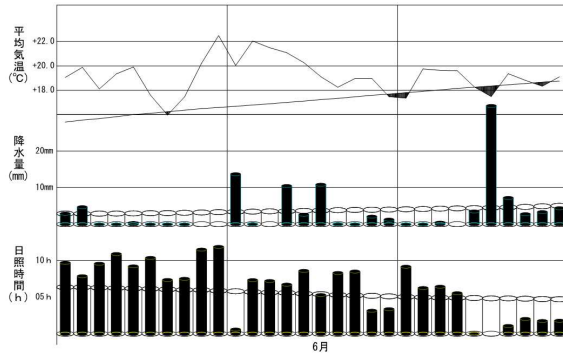
降水量、日照時間平年比分布図の各地点の白四角と黒四角はそれぞれ平年値と実況値です。各分布図の左上のスケール(高さ)は、降水量(mm)、日照時間(h)を表します。各地点の数字は平年比(%)です。



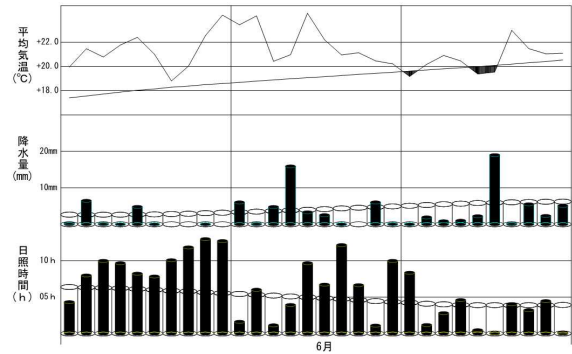
東北日本海側



東北太平洋側



東北北部



東北南部

平均気温、降水量、日照時間の経過

左上は東北日本海側、右上は東北太平洋側、左下は東北北部、右下は東北南部の気象官署の観測値と平年値の地域平均。気温は折れ線が観測値、実線が平年値で、陰影は平年値より低いことを示す。降水量と日照時間は黒円柱が観測値、白円柱が平年値。

注意事項

気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、特別地域気象観測所の観測値より求めています(速報値)。

細分地域を東北日本海側は青森県津軽・秋田県・山形県・福島県会津、東北太平洋側は青森県下北・三八上北・岩手県・宮城県・福島県中通り・浜通り、東北北部は青森県・秋田県・岩手県、東北南部は宮城県・山形県・福島県としています。

気温の高い・低い、降水量、日照時間、降雪の深さ合計の多い・少ないは、特にことわらない限り平年と比較した階級を表します。平年値の統計期間は1981~2010年です。階級区分は、1981~2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めています。また、値が1981~2010年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には「かなり高い(多い)」「かなり低い(少ない)」と表現します。

## 2020年6月の極値・順位の更新 (順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。)

### 月平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃ (西暦年)	開始年	平年値 ℃
1	若松	22.2	+2.1	22.1 (2013)	1954	20.1
	深浦	18.9 =	+1.6	18.9 (2007)	1940	17.3
2	大船渡	19.6	+2.2	19.8 (1991)	1964	17.4
	むつ	17.9	+2.2	18.2 (1991)	1935	15.7
	八戸	18.5 =	+2.3	19.3 (1991)	1937	16.2
	山形	22.1	+2.3	22.3 (1894)	1890	19.8
	仙台	21.2	+2.7	21.4 (1979)	1927	18.5
	白河	20.6	+2.0	20.8 (1979)	1940	18.6
3	新庄	20.7	+1.8	21.0 (2014)	1958	18.9
	青森	19.3	+2.1	19.8 (1991)	1882	17.2
	盛岡	20.4 =	+2.1	20.8 (2014)	1924	18.3
	福島	22.4 =	+2.3	22.9 (1979)	1889	20.1
	小名浜	20.7	+2.3	21.0 (1991)	1910	18.4

### 月降水量少ない方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
1	仙台	43.5	30	48.3 (1933)	1927	145.6

月平均気温低い方から、月降水量多い方から、月間日照時間多い方から、月間日照時間少ない方からの順位更新の3位以内はありません。

(注) 値の横に「=」がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等、統計に用いなかった値が含まれている(資料不足値)。順位は更新順位以上になることは確実であるが、統計値の使用に際しては気候表に記載した統計日数を参照されたい。  
平年値とは1981～2010年の30年間の値を平均したものである。

## 2020年6月の月気候表

地点名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比) 階級		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
青森	19.3	(+2.1) +*	102.5	(136) +	8	210.0	(117) +
深浦	18.9	(+1.6) +*	91.5	(103) ○	9	200.5	(110) ○
むつ	17.9	(+2.2) +*	113.5	(114) +	11	166.3	(102) ○
八戸	18.5	(+2.3) +*	90.0	(85) ○	12	187.2	(112) +
秋田	20.9	(+1.7) +*	125.0	(106) +	11	210.5	(119) +
盛岡	20.4	(+2.1) +*	124.0	(113) ○	10	200.5	(130) +*
大船渡	19.6	(+2.2) +*	98.0	(57) -	8	170.8	(116) +
宮古	18.1	(+2.1) +*	77.5	(67) -	10	169.6	(114) +
仙台	21.2	(+2.7) +*	43.5	(30) -*	8	179.4	(134) +*
石巻	19.9	(+2.2) +*	47.5	(42) -*	9	188.3	(126) +*
山形	22.1	(+2.3) +*	48.0	(43) -*	7	197.1	(124) +*
新庄	20.7	(+1.8) +*	90.5	(71) ○	9	197.7	(127) +*
酒田	21.5	(+1.9) +*	101.0	(84) ○	10	224.9	(126) +
福島	22.4	(+2.3) +*	48.5	(40) -*	11	162.1	(119) +
若松	22.2	(+2.1) +*	67.5	(61) -	9	201.3	(124) +*
白河	20.6	(+2.0) +*	155.0	(103) ○	14	143.4	(114) +
小名浜	20.7	(+2.3) +*	186.0	(125) +	14	158.1	(111) +

- (注) 1. 平年値は1981～2010年の資料から求めた。  
 2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。  
 +:高い(多い)    ○:平年並    -:低い(少ない)  
 各階級の区分値は、1981～2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。  
 また、値が1981～2010年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に\*を付加した。この場合には  
 かなり高い(多い)                      かなり低い(少ない)  
 と表現できる。  
 3. 値の横に「) や ]」がある場合は、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができる。  
 ]付きの値(資料不足値)については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にするとともに、階級についても値と同様の品質であることに留意して使用されたい。  
 なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

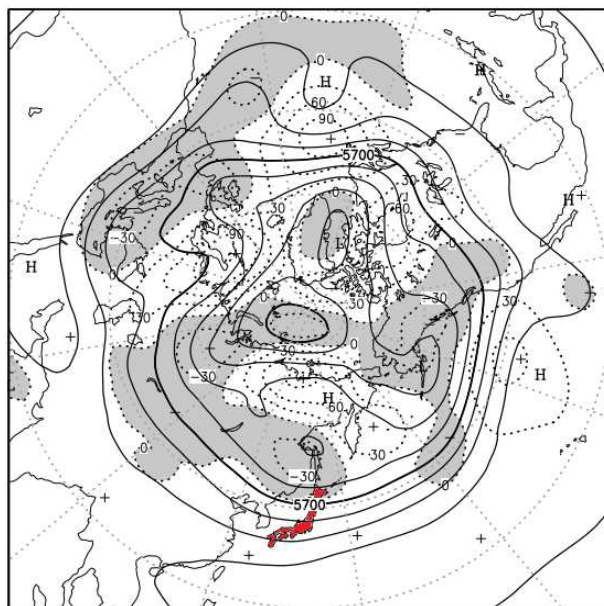


## 循環場の特徴

500hPa 高度は、バイカル湖付近からサハリン付近にかけて、平年より低い一方、亜熱帯高気圧が日本の南で西へ張り出し、東シナ海から本州付近にかけて平年より高度が高くなった。偏西風は大陸から日本付近にかけてやや北に偏って流れた。

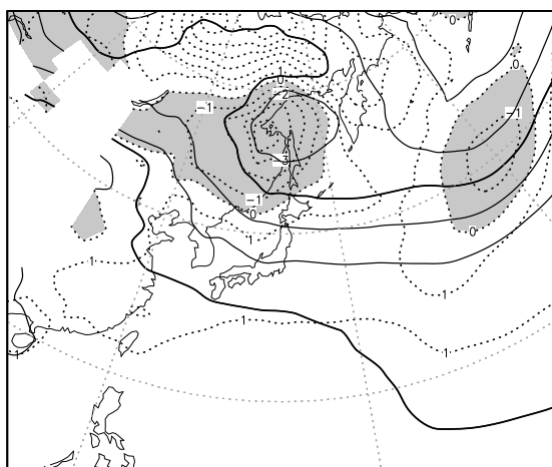
850hPa 気温は、バイカル湖からサハリン付近にかけて平年より低い一方、日本付近は平年より高かった。

海面気圧は、大陸から日本付近にかけて平年より低かった。特にバイカル湖の南から北海道の東にかけて気圧が低く、低気圧が日本の北を通りやすかった。また、日本の南海上から南シナ海にかけて平年より気圧が高く、太平洋高気圧が西に張り出した。東北地方には南の高気圧から北の低圧部に向かって、暖かい空気が流れ込みやすかった。



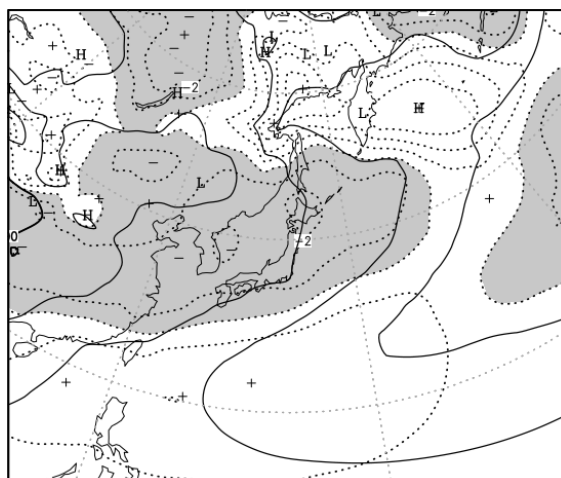
2020年6月の平均500hPa高度

実線は高度(m)、間隔60m。点線は偏差(m)、間隔30m。陰影は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。



2020年6月の平均850hPa気温

実線は気温(°C)、間隔3°C。点線は偏差(°C)、間隔1°C。陰影は負偏差で寒気に対応し、白抜きは正偏差で暖気に対応する。



2020年6月の平均海面気圧

実線は海面気圧(hPa)、間隔4hPa。点線は偏差(hPa)、間隔1hPa。陰影は負偏差、白抜きは正偏差。